

# 事業報告

## 令和元年度 教育事業 幼児キャンプ

令和元年9月28日(土)～令和元年9月29日(日)

【対象】年長児

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

豊かな自然の中での遊びを通して幼児期に身につけたい多様な動きを獲得し、感性を高めるとともに基本的な生活習慣の基礎を育む機会とする。

### ～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

### ～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 日目	11:00～ 受付 11:30～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	” 森の中へGo!! ”			夕 入 浴	夕 食	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日目	起 床	朝 の つ と い	朝 食	清 掃	” みんなで作ろう! みんなでお食べよう!” 「ピザ作り」	閉 会 式	11:30～ 閉会式 12:00～ 解散									

### ～参加者～

年長児 計21名（長野県：19名、愛知県：1名、茨城県：1名）

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ 「森の中へGo!!」

講師：飯田女子短期大学幼児教育学科准教授 田中 住幸氏

森の中では色を探す鬼ごっこをしたり、落ち葉や木の実を探すゲームをしたりと子供たちは元気いっぱい体を動かした。森の中で過ごす時間の最後には火を焚いてマシュマロを焼くおやつタイムを行った。森の中で過ごす特別な時間に、子供たちの笑顔が広がった。





## 活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」

講師：絵本専門士 北原 まり氏

絵本の専門家である絵本専門士の先生に来ていただき、子供たちが大好きな絵本を読んでもらった。子供たちはみんな目を輝かせて物語の世界へ引き込まれていた。

## 活動Ⅲ 野外調理「ピザ作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

子供たちはピザの生地作りから始めて、生地をこねたり伸ばしたりして、みんなで協力してピザを作ることができた。どの班も上手に作ることができ、焼きたてアツアツのピザを嬉しそうに頬張っていた。一生懸命取り組み、全員でおいしい食事を共にすることができた。



### ～参加者の声～

#### 《参加児童》

- みんなで森の中に行って遊んだことが楽しかった。
- 森の中を歩いたことが楽しかった。
- ピザを作ることが初めてで楽しかった。
- みんなでピザを作って食べたことが楽しかった。
- 絵本の読み聞かせの「ともだちや」が楽しかった。

#### 《保護者》

- はじめて親元を離れ、他の知らない土地、友達、大人の方に囲まれて親子共々緊張しましたが、いざお迎えに行くと顔が全然ちがう！たかましくなって戻ってきたように感じ、体験できてとても良かったです。楽しめたようで、しばらくおしゃべりが止まりませんでした。
- はじめて親から離れてのお泊まりで心配しましたが、みんなとご飯食べたり、寝たり、ピザ作ったりと全てが楽しかったようで安心しました。帰りにはボランティアさんにひっついてなかなか帰れませんでした。
- ピザ作りがとても楽しかったそうで、帰ってきてから作り方を教えてくれたのですがとても詳しく話せていてびっくりしました。はじめて親元を離れてのお泊まりでしたが元気よく帰ってこられました。



### ～成果と課題～

- はじめて親元を離れてお泊まりする子供たちがほとんどであったが、ボランティアを含めた大人の目を多くしてスタッフの配置を工夫することで、事業途中で帰りたいたいと言いだす子供が出ることなく、安心してプログラムを楽しんでもらえる環境作りができた。
- 初めての年長児のみを対象とした事業のため、応募がどの程度集まるのか、本事業の需要がどの程度あるのか心配であったが、実際には応募者多数で抽選となった。来年度は応募者全員が参加できるような体制を検討したい。